

ほっと 関西

利用者の笑顔が一番のやりがい

はない」と感じ、日本でも同じ空間をつくりたいと考えた。約30年間にわたって、商業施設の空間プロデュースを手掛けてきた。プライベートでも買い物の傍らで街や人を観察し、より良い空間づく

りのヒントを探し続ける。商業施設が誕生するまでには、社内外で多くの人が関わる。プロジェクトのリーダーとして、「常に人とのつながりを大切にしたい」と話す。多様なメンバーとアイデアを出し合い、考え方を共有し、それらを調和させて新たな商空間を生み出してきた。施設の開業時、

チーム全員で利用者の笑顔を見る瞬間に一番やりがいを感じる。

関西拠点のデザイン系6団体が加盟する大阪デザイン団体連合(USDAO)の会長でもある。インテリアや看板など、デザイン力で社会課題に向き合うメンバーから受ける刺激を今後の活動に生かしていく。(大阪支局 鈴木康平)

学生時代に訪れたアメリカでショッピングモールを見て、「面白い物をするだけの場所



スペース大阪本部
クリエイティブ事業部事業部長

さいとう
齋藤

しゅんじ
俊二さん